

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	窪田理容美容専門学校
設置者名	学校法人 窪田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	理容学科（2年制）	夜・通信	1348 時間	80×2=160 時間	
	美容学科（2年制）	夜・通信	1400 時間	80×2=160 時間	
	テクニカルスタイリスト科（1年制）	夜・通信	570 時間	80×1=80 時間	
	美容学科トライチェンジコース（3年制）	①夜・通信	1511 時間	45×3=135 時間	
	トータルビューティシャン科（2年制）	夜・通信	1320 時間	80×2=160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧で、教員の实務経験に関し記号を付けている。（掲載： https://www.kubota.ac.jp/school/provision.html ）

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	窪田理容美容専門学校
設置者名	学校法人 窪田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HP内で公表している事業報告書に名簿を公開している。
(掲載：<https://www.kubota.ac.jp/school/provision.html>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人 元教員	(始期) 令和7年5月 30日 (終期) 令和11年5月 29日	学園内の教育内容・学科編 成に対する専門実践的な 知見
非常勤	企業 経営者	(始期) 令和7年5月 30日 (終期) 令和11年5月 29日	組織運営などのガバナンス 体制に対し、経営的で専 門的な知見
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	窪田理容美容専門学校
設置者名	学校法人 窪田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (理容学科(2年制) 美容学科(2年制) 美容学科トリシェンジコース(3年制) テクニカルスタイリスト科(1年制) トータルビューティシアン科(2年制)) 【作成について】 各授業科目については、毎年度、学内シラバス会議により講義の内容についての検討に基づき、全科目共通で ①授業の方法 ②授業の内容 ③授業計画 ④到達目標 ⑤成績評価の方法・基準 ⑥教員紹介(実務経験)を記載し、学内統一様式でシラバスを作成している。 【時期について】 翌年度の授業計画は12月～2月に担当教員が作成し、3月の理事会にて承認、3月下旬にHPに公開する。														
授業計画書の公表方法														
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバスに授業の内容、到達目標、成績評価の方法を記載し、学修成果として各授業科目の評価を行い、厳格かつ適正に単位を与えている。 各授業科目における試験は100点法で評価を行い、次の4段階評価に換算する。 <table border="1"> <tr> <td>100点法</td><td>100～80</td><td>79～70</td><td>69～60</td><td>59～0</td></tr> <tr> <td>4段階評定</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> </table> 実習の試験はカリキュラムに沿って技術能力到達状況に合わせて行い、各学期の定める技術能力(評価)に到達していない場合には各休業期間に補習授業を行う。実習以外の試験は、定期試験及び追試験・再試験とする。定期試験は、各学期の期末に実施し、その時間割は試験開始日の1週間前に公示するものとする。 追試験は、病気その他止むを得ない事由により、定期試験を受験できなかった者を対象とし、適宜行う。 再試験は各科目の学期における評価点数が60点に満たない者に対し、各学期終了後に行う。					100点法	100～80	79～70	69～60	59～0	4段階評定	A	B	C	D
100点法	100～80	79～70	69～60	59～0										
4段階評定	A	B	C	D										

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学業成績は、授業科目ごとに行う試験(定期試験・実技試験等)によって評価される。 履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出(100点満点で点数化)し、その結果を指標の数値で分布している。 成績評価方法については入学オリエンテーションで通知している。 ・成績分布表別紙参照	
客観的な指標の算出方法の公表方法	HPに公表 (https://www.kubota.ac.jp/school/provision.html)
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 公表しているディプロマポリシーに基づき、所定の期間在学し、所属学科において定める専門分野に関する知識・技能と共に①コミュニケーション能力 ②協調性、調和性を重んじ問題を解決する能力 ③向上力 ④人間的魅力 を身につけ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定している。 ディプロマポリシーについては、事業報告書内にて公表。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	HPに公表 (https://www.kubota.ac.jp/school/provision.html)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	窪田理容美容専門学校
設置者名	学校法人 窪田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公開
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公開
財産目録	ホームページにて公開
事業報告書	ホームページにて公開
監事による監査報告（書）	ホームページにて公開

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		職業実践専門課程 衛生専門課程	理容学科 (2年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2087 単位時間/単位	510 時間	311 時間	1048 時間	10 時間	208 時間
		単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員 数	総教員数	
80 人		75 人	0 人	9 人	15 人	24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

(概要) 各カリキュラムにおいて小テストや演習を実施、その理解や習得度を確認している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
30 人 (100%)	7 人 (23%)	23 人 (77%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 理容室、及びエステティックサロン 株式会社 HIROGINZA、株式会社 リビナス、サロン ドラヴィ、株式会社 銀座 マツナガ、 K STYLE 、株式会社 スカイ、株式会社 ハレケ、株式会社 髪 ing、RODAN、等			
(就職指導内容) 年 2 回の合同企業説明会の開催、担任とキャリアサポート課の連携による個別相談。 学生個人の就職状況のカルテを作成し、進路状況を共有、多角的な指導を実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理容師免許 日本エステティック協会認定エステティシャン JNEC ネイリスト技能検定 3 級 メイクアップ検定 3 級 シュワルツコフ ヘアカラー検定 秘書技能検定 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
73 人	7 人	9.5%
(中途退学の主な理由) ・進路変更 ・学習意欲の低下 ・精神の疾病・経済状況の悪化		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校長・担任による個別のカウンセリング。モチベーションアップの為の各種イベントを学校全体で実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		職業実践専門課程 衛生専門課程	美容学科 (2 年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
	2 年		昼	2087 単位時間/単位	499 時間	274 時間	1118 時間
		単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
280 人		286 人	0 人	18 人	16 人	34 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照	
学修支援等	
(概要) 各カリキュラムにおいて小テストや演習を実施、その理解や習得度を確認している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
128 人 (100%)	27 人 (21%)	101 人 (79%)	0 人 (0%)
美容室、まつ毛エクステンションサロン、ネイルサロン、エステティックサロン 株式会社ゼンコー、株式会社レゾナ、MINX、AOE 株式会社、SHEA、EARTH Neolive、ピアス株式会社、株式会社田谷、株式会社アッシュ、株式会社ケンジ 株式会社アイデア・ノブ、株式会社おしゃれ企画、株式会社サロン・ド・ユー 株式会社ジュノン、株式会社トミーズスター、FILMS、THEATER、Double 株式会社谷口商事、株式会社ビューマインド、株式会社 Du・pay、アトリエはるか 株式会社フジプランニング、株式会社スター、株式会社マーキュリー 株式会社トニーズコレクション、OCEAN TOKYO 等			
(就職指導内容) 年3回の合同企業説明会の開催、担任とキャリアサポート課の連携による個別相談。			

学生個人の就職状況のカルテを作成し、進路状況を共有、多角的な指導を実施。
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師免許 秘書技能検定 まつ毛エクステンション初級 メイクアップ検定 3 級 メイクアップ検定 2 級 シュワルツコフヘアカラー検定 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
282 人	20 人	7.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更 学習意欲の低下、家庭事情 精神の疾病、経済状況の悪化		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校長・担任による個別のカウンセリング。モチベーションアップの為の各種イベントを学校全体で実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		職業実践専門課程 衛生専門課程	テクニカルスタイリスト科 (1 年制)				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	840 時間 単位時間／単位	271 時間	113 時間	440 時間	4 時間	12 時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		34 人	0 人	12 人	10 人	22 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照

卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 各カリキュラムにおいて小テストや演習を実施、その理解や習得度を確認している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30 人 (100%)	0 人 (0%)	30 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 理容室、美容室、及びエステティックサロン 株式会社 HIROGINZA、株式会社 リビナス、株式会社 RAJA、株式会社 銀座マツナガ、 りょう室 ZANGIRI、株式会社 スカイ、株式会社 ハレケ、ピアス株式会社、MINX、RODAN エステティックサロン・化粧品販売・ネイルサロン 株式会社 スイートピア、株式会社 美来、株式会社 ザ・フォウルビ、株式会社 ラヴィアンローズ 株式会社 ゼンコー、株式会社 レゾナ、AOE 株式会社、 Neolive、株式会社 田谷、株式会社 アッシュ、株式会社 ケンジ、株式会社 イデア・ノブ、 クレス、株式会社 おしゃれ企画、株式会社 サロン・ド・ユー、株式会社 ジュノン、株式会社 ビューマインド、株式会社 Du・pay、株式会社 フジプランニング、株式会社 マーキュリー等			
(就職指導内容) 年3回の合同企業説明会の開催、担任とキャリアサポート課の連携による個別相談。 学生個人の就職状況のカルテを作成し、進路状況を共有、多角的な指導を実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 美容師免許、理容師免許、JNA ジェルネイル技能検定初級 A・F・T 色彩検定、秘書技能検定、まつ毛エクステンション検定3級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校長・担任による個別のカウンセリング。モチベーションアップの為の各種イベントを学校全体で実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		職業実践専門課程 衛生専門課程	美容学科トライチェンジ コース (3年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2087 単位時間/単位	510 時間	311 時間	1048 時間	10 時間	208 時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		16 人	0 人	17 人	12 人	29 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3 【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 各カリキュラムにおいて小テストや演習を実施、その理解や習得度を確認している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	10人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 美容室、まつ毛エクステンションサロン、ネイルサロン、エステティックサロン 株式会社ゼンコー、AOE 株式会社、Neolive、ピアス株式会社、株式会社アッシュ、株式会社 アイデア・ノブ、クレス、株式会社サロン・ド・ユー、MINX 株式会社ジュノン、株式会社トミーズスター、株式会社ビューマインド、株式会社 Du・pay、 株式会社ぬばたま、株式会社レゾナ 等			
(就職指導内容) 年3回の合同企業説明会の開催、担任とキャリアサポート課の連携による個別相談。 学生個人の就職状況のカルテを作成し、進路状況を共有、多角的な指導を実施。 当該課程は夜間となる為、時間帯による指導の差が発生しないよう、個別相談実施			

時間を別途設け実施。
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師免許 JNEC ネイリスト技能検定 3 級 秘書技能検定 まつ毛エクステンション初級 メイクアップ検定 3 級 シュワルツコフヘアカラー検定 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25 人	2 人	8%
(中途退学の主な理由) 進路変更 学習意欲の低下・家庭事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校長・担任による個別のカウンセリング。モチベーションアップの為の各種イベントを学校全体で実施。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		職業実践専門課程 衛生専門課程	トータルビューティ シャン科 (2 年制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1740 時間 単位時間/単位	750 時間	149 時間	777 時間	11 時間	53 時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		59 人	0 人	19 人	9 人	28 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準

(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 各カリキュラムにおいて小テストや演習を実施、その理解や習得度を確認している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 （ 100%）	1 人 （ 5%）	15 人 （ 79%）	3 人 （ 16%）
(主な就職、業界等) ビューティーアドバイザー等メイクアップ関連職業、ネイルサロン、エステティックサロン アトリエはるか、スタジオシエル、(株)ザ・フォルビ、(株)ワムホールディングス等			
(就職指導内容) 合同企業説明会の開催を計画。担任とキャリアサポート課の連携による個別相談。 学生個人の就職状況のカルテを作成し、進路状況を共有、多角的な指導を実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日本エステティック協会認定エステティシャン JNEC ネイリスト技能検定 2 級 メイクアップ検定 2 級 秘書技能検定 JNA ジェルネイル技能検定 初級 アロマセラピー検定 等			
(備考)（任意記載事項） 令和 5 年 4 月設置			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49 人	8 人	16.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更 学習意欲の低下、精神の疾病、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校長・担任による個別のカウンセリング。モチベーションアップの為の各種イベントを学校全体で実施。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
理容学科	120,000 円	600,000 円	491,000 円	その他内訳(施設設備維持料、実習料)
美容学科	120,000 円	600,000 円	491,000 円	その他内訳(施設設備維持料、実習料)
テクニカルスタイリスト科	500,00 円	600,000 円	240,000 円	その他内訳(施設設備維持料、実習料)
美容学科 夜間 トータルビューティコース	100,000 円	390,000 円	179,333 円	その他内訳(施設設備維持料、実習料)
トータルビューティ シャン科	100,000 円	600,000 円	335,000 円	その他内訳(施設設備維持料、実習料)
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法		
前年度の評価について、HPにて公開		
https://www.kubota.ac.jp/school/provision.html		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者として、関係企業、卒業生などを含む学校関係者委員会を組織し、それぞれの立場から教育内容や学校運営等について評価を実施している。 評価内容および結果は理事会ではもちろんの事、各委員会や教育課程編成委員会などにフィードバックされ、次年度以降の学校運営改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
美容室 経営者 卒業生	令和5年10月1日～ 令和7年9月30日	企業
理容室 経営者 理容業界団体・幹部	令和5年10月1日～ 令和7年9月30日	企業 業界関係者
美容室 経営者	令和5年10月1日～ 令和7年9月30日	企業
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法		
前年度の評価について、HPにて公開		
https://www.kubota.ac.jp/school/provision.html		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
公表URLアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法
HPアドレス https://www.kubota.ac.jp にて情報公開（ブログ等含む）
基本情報 https://www.kubota.ac.jp/school/provision.html

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113311400059
学校名 (〇〇大学 等)	窪田理容美容専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 窪田学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		92人（－）人	87人（－）人	98人（－）人
内 訳	第Ⅰ区分	58人	52人	
	(うち多子世帯)	(0 人)	(0 人)	
	第Ⅱ区分	19人	18人	
	(うち多子世帯)	(0 人)	(0 人)	
	第Ⅲ区分	13人	16人	
	(うち多子世帯)	(0 人)	(0 人)	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	一人	一人	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				98人（－）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	人	前半期	後半期
		0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期	
修得単位数が「警告」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当）	人	0人	0人	
G P A等が下位4分の1	人	0人	17人	
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0人	0人	
計	人	0人	17人	
(備考)				

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。